

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

被告人本人は上告趣意書と題する書面を提出したが、上告理由の記載がないから不適法である。

よつて、刑訴法四一四条、三八六条一項二号により、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり決定する。

昭和五三年九月一三日

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官	岸	上	康	夫
裁判官	団	藤	重	光
裁判官	藤	崎	萬	里
裁判官	本	山		亨